

豪華！2台ピアノによる
4人の偉大な作曲家の競演コンサート

～モーツアルト・ストラヴィンスキイ・ガーシュイン・ラフマニノフ～



伊藤 順一



宮川 知子



今田 篤



川添 文

輝くフレッシュなピアニストが紡ぎだす魅音

2022年2月13日(日)

14:00開演 / 13:30開場

逗子文化プラザ なぎさホール

逗子市逗子 4-2-10 ☎046-870-6622

入場料 全自由席

中学生以下無料ご招待 現定数 要ご予約

一般 3000円 ペアチケット 5000円

プラチナ(70歳以上) 2000円

チケット販売

逗子文化プラザ受付

☎046-870-6622

島森書店(鎌倉)

☎0467-22-0266

カメラのさくらや(鎌倉) ☎0467-22-1877

チケット購入サイト
(クレア・ムジーク)



【主催】

NPO 法人 湘南クラシックアーティストパラダイス

【後援】逗子市 / 鎌倉市 / 鎌倉市教育委員会 / 公社)鎌倉市観光協会 /

株式会社ジェイコム神奈川・湘南 / 鎌倉エフエム放送株式会社 /

株式会社タウンニュース社 / 鎌倉ビジネスソサエティ /

WARP ワールドアーティストパラダイス / 尾西食品株式会社 /

有限会社グローブ / 株式会社カマクラ

【協賛】株式会社河合楽器製作所

お問い合わせ・チケットご予約

湘南クラシックアーティストパラダイス

☎ 0467-24-5695

Profile



4歳よりピアノを始めヤマハにて及川良子氏に師事。その後、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学にて秦はるひ氏に師事し、在学中第21回彩の国・埼玉ピアノコンクール金賞、第4回横浜国際音楽コンクール大学の部1位、並びにパリ・エコールノルマル音楽院への奨学生を得て2011年よりフランスに渡りエコールノルマル音楽院へ留学。アンリ・バルダ氏のクラスで学び演奏課程を首席で修了。翌年コンサティストディプロムをピアノ、室内楽共に満場一致の首席、審査員特別賞で修了し、2014年パリのサル・コルトにてショパン24のプレリュードなどのプログラムでソロリサイタルを開催。その後リヨン国立高等音楽院でエルベ・エヌカウア、ティエリー・ロシュバック両氏のもと研鑽を積む。2016年よりシャトゥ、ステファノ・マリッタ、ニースなどの国際コンクールで1位の他、イタリア、スペイン、クロアチアなどヨーロッパ各地のコンクールに入賞し、ラフマニノフ、シューマン、モーツアルトのコンチェルト、またクロアチア放送交響楽団とグリーグのコンチェルトを演奏。2017年には2台ピアノで第91回レオポルト・ベラン国際コンクールにおいて1位を受賞。2018年フランスリヨンのゲーテサロンや、2019年イタリア南部バルレッタにて2夜連続のソロリサイタルを開催。その後完全帰国し、第4回日本ショパンコンクールにおいて1位を受賞。以前より室内楽の分野でもデュオ、カルテット、2台ピアノなどのアンサンブルコンサートを日本とフランスで主宰し、多くのアーティストとの共演者としても活躍、また毎年フランス中部ノアンの講習会にてイブ・アンリ氏のアンサンブルを務めている。現在、東京や神戸にて後進を指導する他、各地で演奏会を開催している。2020年に開かれた東京でのリサイタルが評価され、栄えある「日本ショパン協会賞」をピアニスト藤田真央氏と共に受賞。

伊藤 順一

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科卒業。同大学在学中渡仏し、パリ・スコラ・カントルム音楽院、サンモール地方音楽院共に満場一致最優秀で修了。その後リヨン国立高等音楽院ピアノ科修士課程を満場一致の最優秀審査員賞付き首席で修了。同音学院ピアノ伴奏科においても修士を取得。第14回オルレアン国際ピアノコンクールにて課題曲賞、及びアンドレ・ジョリヴェ賞を受賞。また2台ピアノで第91回レオポルト・ベラン国際コンクール最優秀賞を受賞する他、歌曲伴奏においても第10回トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールにて最優秀デュオ賞を受賞するなど音楽活動は幅広い。これまでに、文化放送「ハピリーくらしき」NHK放送「ららら♪クラシック」「うたコン」等に出演する他、ミュージカル「ラヴ」(2021)の音楽監督及び奏者を務める等多岐に渡って活躍する。ピアノを小川道子、竹内啓子、上田晴子、テオドール・パラスキヴェスコ、フローラン・ボファール、ローラン・カバッソ各氏に、伴奏法を保都玲子、クロード・コレ、ダビッド・ゼーリング各氏に師事。現在、桐朋学園大学嘱託演奏員。

宮川 知子

1990年静岡県掛川市生まれ。2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第4位及び2016年エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー・ブリュッセル）にてファイナリスト入賞。その他若い音楽家のためのクライネフ国際ピアノコンクール第2位（ウクライナ・ハリコフ）、全日本学生音楽コンクール高校生の部全国大会第1位、日本音楽コンクール第2位、PTNAピアノコンペティション特級銀賞、東京音楽コンクール第2位をはじめ国内外のコンクールで優勝、入賞。これまでにマリン・オールソップ指揮ベルギー国立管弦楽団、ポール・メイエ指揮王立ワロン室内管弦楽団、クラウディオ・クルス指揮リベルラン・プレート交響楽団（ブラジル）、クラウディオ・クルス指揮サンパウロ青少年交響楽団、ロッセン・ゲルゴフ指揮読売日本交響楽団、高関健指揮東京交響楽団、本名徹次指揮日本フィルハーモニー交響楽団ほか海外及び国内のオーケストラと共に多数。リサイタルを日本国内及びフランス、ベルギー、ドイツ、ブラジル、アゼルバイジャン、英国にて行う。そのほかブリュッセル・ピアノ・フェスティバルや横浜市招待国際演奏会等の著名な音楽祭に出演。2008年度（財）ヤマハ音楽振興会音楽支援奨学生。2011年、2014年度公益財團法人ロームミュージックファンデーション奨学生。2013年度宗次エンジェル基金／新進演奏家国内奨学金奨学生。2017年芸術・文化、若い芽を育てる会奨励賞。明治安田クオリティオブライフ奨学金奨学生。2018年ベルギーショパン協会賞受賞 東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学を卒業。2014年9月に英国王立音楽大学修士課程に奨学生として入学し2016年7月に優秀な成績で卒業。2017年3月に東京藝術大学大学院修士課程を大学院アカンサス音楽賞及び藝大クラヴィーア賞を受賞して修了。ライツツィヒ演劇音楽大学演奏家課程を2020年11月に修了。これまでにピアノを三好のびこ、故堀江孝子、クラウディオ・ソアレス、伊藤恵、ドミトリ・アレクーエフ、ルース・テム・サイトクーロフ、ゲラルド・ファウトの各氏に師事。2021年4月より東京藝術大学音楽学部ピアノ科非常勤講師。

今田 篤

1991年生まれ。清泉女学院高等学校を卒業後、東京藝術大学に進学、同声会賞、調律師新人協会賞を受賞して卒業。同大学院修士課程を、芸大アカンサス賞、芸大クラヴィーア賞を受賞して卒業。2019年、Hastings国際コンクールセミファイナリスト（イギリス）同年、Brescia国際コンクール ファイナリスト（イタリア）第19回～26回かながわ音楽コンクール連続8回本選出場。総合二位、最優秀賞、優秀賞、かながわトヨタ賞、キタモト賞、コンチェルト賞等多数受賞。第3回ショパンコンクールインアジア アジア大会銀賞。第33回ピティナピアノコンペティションG級ベスト4賞。第8回北本ピアノコンクール大学生部門第1位。第5回横浜国際コンクール大学生部門第2位。第28回かながわピアノコンクールシニアピアノ部門第1位、コンチェルト賞。2013年、東京藝術大学モーニングコンサートに出演。プロコフィエフ作曲ピアノ協奏曲第2番を芸大フィルと共に演。2014年、東京藝術大学同声会賞受賞者コンサート、調律師新人協会賞受賞者コンサートに出演。2019年、ニース夏期アカデミーにて、選抜コンサートに出演。その他、JTホールでの期待の音大生によるアフタヌーンコンサート、第8回若い芽のコンサート、表参道カワイジョイントリサイタル等様々なコンサートに出演。これまでに日比谷友紀子、青柳晋、エヴァ・ポヴォッカ、アンヌ・ケフェレック、川田健太郎、秦はるひの各氏に師事。室内楽を古賀慎治、江口玲、大友肇の各氏に、連弾を角野裕氏に師事。ピアノソロだけでなく、伴奏ピアニストとしても幅広く活動中。後進の指導にも力を注いでいる。

川添 文